授業科目名	ソーシャルワーク実習指導	単位数	6
担当教員名	堀越　由紀子・神原　由佳・砂田　淳一郎・平　雅夫・矢原　絵理	担当形態	オムニバス
実務内容 （実務家教員の場合）	社会福祉士として福祉現場の経験がある教員が、実践的視点からソーシャルワーク実習指導について解説する。		

「学位授与の方針」との関係

本科目は「ソーシャルワーク実習Ⅰ・Ⅱ」とセットで学ぶことにより、様々な問題を抱える人や社会に対し「人や人」「人を環境」を繋げ、効果的な解決策を考えていく。このプロセスを通すことにより、自律的な課題探求能力を身に着けていくことを目的とする。

授業の到達目標及びテーマ

（１）ソーシャルワーク実習の意義について理解する。

（２）実習にかかる個別指導および集団指導を通じて、相談援助における具体的な知識や技術を習得する。

（３）社会福祉士として求められる資質や技能、倫理等について、総合的に対応できる能力を身につける。

（４）実践現場において、具体的な体験や援助活動を、専門的援助技術に結びつける能力を身につける。

授業の概要

本養成課程の最重要科目である「ソーシャルワーク実習」を有意義かつ有効なものとしていくために、実習の意義、学ぶべき視点、ソーシャルワーク現場での具体的な業務の内容とそこでの視点について、個別指導を中心にして学ぶことを目的とする。

授業計画

第１回：ソーシャルワーク実習の意義
第２回：ソーシャルワーク実習の目標
第３回：現場実習としてのソーシャルワーク（１）
第４回：現場実習としてのソーシャルワーク （２）
第５回：援助関係形成のための基本的理解
第６回：ソーシャルワーク実習の確認事項（１）
第７回：ソーシャルワーク実習の確認事項（２）
第８回：実習先オリエンテーション（事前訪問）
第９回：相談援助実習の心得
第１０回： ゲストスピーカー（施設で働く実習指導者の話を聴く）
第１１回：ソーシャルワーク演習における利用者の人権尊重
第１２回：ソーシャルワーク演習における倫理
第１３回：ソーシャルワーク演習におけるスーパービジョン
第１４回：ソーシャルワーク実習後の振り返り（１）
第１５回：ソーシャルワーク実習後の振り返り（２）
定期試験

スクーリングでの学修内容 スクーリングでは、ソーシャルワーク実習の意義と目的についてしっかりと押さえた上で、実習前の確認事項について理解を深める。また、現場で日常的に実習生を指導している方の話を聞くことにより、一層の理解を図っていく。また、実習後のスクーリングでソーシャルワーク実習の振り返りを集団で学び合う。
教科書 なし
参考文献 必要に応じて適宜紹介する。
学生に対する評価 　評価基準の詳細については、通常の科目と異なるため別途説明する。